

愛知学院大学薬学部 生涯教育委員会

生涯教育委員会 活動報告（令和3年度～令和4年度）

学内委員：加藤宏一、松浦克彦、鬼頭敏幸、築地仁美、小幡徹、伊納義和、鈴木裕可、山本清司、安藤基純、河原 昌美

同窓会委員：井上誠二、小浜守兵、久綱僚、斉木智一

外部委員：今井敬司

1. 生涯教育講座の再開（令和3年度）

令和3年春学期まで、新型コロナウイルス感染症のために、集合研修の開催は二の足を踏んでいたが、9月に入り集合研修開催に向けて委員会を開催し、年度末に集合研修を行うことを目的として、体制を整えた。日本薬剤師研修センターの単位認定が、オンライン化されることに伴い、新たに研修施設として登録後、まずは集合研修開催施設として認定を受け、タイムリーな内容として「予防接種」をテーマとして選択した。

第1回 予防接種を学びなおそう（参加者 30名）令和4年2月26日実施

1. 予防接種に関する正しい知識

愛知学院大学薬学部 疾患病態学講座 鬼頭敏幸教授

2. 予防接種と免疫応答

愛知学院大学薬学部 薬品分析学講座 古野忠秀教授

3. 予防接種に関する意識調査の現状

愛知学院大学薬学部 臨床薬学講座 河原昌美教授

第2回 日米における予防接種への薬剤師の関わり

（参加者 22名）令和4年3月12日実施

1. 米国薬学部におけるワクチン接種教育～国際交流の経験から～

愛知学院大学薬学部 医療薬学講座 浦野公彦准教授

2. 米国薬剤師会によるワクチン接種のための

認定プログラムを受講するうえでの基礎知識

愛知学院大学薬学部 医療薬学講座 山本清司講師

3. オンラインを活用した米国でのワクチン接種のための

認定プログラム受講と本学の職域接種紹介

愛知学院大学薬学部 臨床薬学講座 安藤基純講師

2. 生涯教育講座の継続（令和4年度）

令和4年度は、前年度におおまかな生涯教育講座の実施手順が定まったこともあり、

3回の生涯教育講座を企画した。感染症、皮膚疾患、認知症をテーマとし、本学教員と外部講師による講義形式とした。薬剤師研修センターの単位認定が、オンラインのみでの受付となり、PC準備、手順確認等、鈴木委員が中心となって体制を整えた。いずれの講座も、多くの参加者があり、アンケート調査においても、講義内容について理解が深まったという回答が得られた。

第1回 アトピー性皮膚炎（参加者41名）令和4年11月27日実施

1. アトピー性皮膚炎治療における免疫反応制御

愛知学院大学薬学部 薬品分析学講座 古野忠秀教授

2. 抗体医薬品によるアトピー性皮膚炎治療最前線

名古屋市立大学医学研究科・附属病院薬剤部長 日比陽子教授

第2回 認知症（参加者40名）令和5年2月24日実施

1. 認知症・神経変性疾患の病態と治療法開発へむけた研究

愛知学院大学薬学部薬学総合教育講座 築地仁美教授

2. 認知症・神経変性疾患の治療法の現状と将来展望

滋賀医科大学・神経難病研究センター 石垣診祐教授

第3回 感染症（参加者70名）令和5年3月19日実施

1. SARS-CoV2の基礎情報、および、アフターコロナ感染症

愛知学院大学薬学部 微生物学講座 河村好章教授

2. コロナ禍での感染症診療支援における薬学的視点—COVID-19肺炎への対応—

愛知医科大学病院 感染制御部/薬剤部 塩田有史講師

3. 終わりに

医療が進歩する中、薬剤師の生涯教育の重要性はますます高まっている。愛知学院大学薬学部生涯教育委員会では、本校卒業生や本講座に興味を持つ薬剤師に役立つ話題を選択し、薬学部教員による基礎的な講義と外部講師による臨床講義を織り込んだ教育講座を企画することを目標としている。卒業生の母校への久しぶりの来校を歓迎し、また子育て世代に向けたオンライン配信も視野に、活動を続けていきたいと考えている。